

飛田晋秀 写真展

福島のスガタ

～3.11 でとまった町～



2012年11月15日(木)～21日(水)

12:00～18:00(土日は10:00～)入場無料

講演会:17日(土) ①13:30～ ②15:00～

※同じ講演を2回にわけて行います。各回45分程度

会場 関西大学リサーチアトリエ「楽歳天三・天満天神楽市楽座」

主催 関西大学 社会的信頼システム創生センター

福島県三春町在住の写真家飛田晋秀氏が、震災後、福島第一原発周辺で撮影した写真の数々を展示します。無人化した街並み、3.11 からときを刻むことやめた時計、野生化した家畜…。これらは、いま現実存在する福島の姿を映し出しています。またそれは確実に、私たちが生きている日本の、世界の姿でもあります。



飛田晋秀氏：

1947年福島県田村郡三春町生まれ。全国の旧城下町の鍛冶職人や地元の田園風景を被写体として活動をしている。地元三春町の職人の姿を収めた写真集『三春の職人』は、民俗学の成果として国立国会図書館に所蔵されている。3.11以降、「報道写真家ではない」と悩むも、記録し伝えなければ忘れられてしまうとの思いから、警戒区域での津波や原発被害地の記録を開始。現在も撮影を続けながら、全国にその現状を伝えている。

会場 関西大学リサーチアトリエ「楽歳天三・天満天神楽市楽座」

〒530-0041

大阪市北区天神橋3丁目9番9号
(天神橋3丁目商店街)

TEL:06-6940-4340

最寄駅：

地下鉄堺筋線「扇町駅」4番出口 徒歩5分

お問い合わせ：

sdaimon@kansai-u.ac.jp

(関西大学 社会学部 大門信也)

